

2022年3月期（2021年度） 第3四半期 決算説明資料

2022年2月

JASDAQ : 3423



株式会社 **エスイー**

1. 2021年度第3四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

1. 2021年度第3四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

第3四半期連結決算実績サマリー（前年同期比）

サマリー

前年同期比～増収大幅増益

建設用資機材の製造・販売事業が好調、各利益も全て大幅増加

（単位：百万円）

	2020年度 3Q	2021年度 3Q	増減	（増減率）	会計方針変更 による増減	左記以外
売上高	16,249	17,676	+1,426	(+8.8%)	+493	+933
営業利益	718	1,663	+944	(+131.4%)	+179	+764
（対売上高比）	(4.4%)	(9.4%)	(+5.0%)			
経常利益	738	1,681	+943	(+127.7%)	+179	+763
（対売上高比）	(4.5%)	(9.5%)	(+5.0%)			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	267	1,064	+797	(+298.0%)	+99	+697
（対売上高比）	(+1.6%)	(+6.0%)	(+4.4%)			

・売上高

- 国内の建設用資機材の製造・販売事業は好調を維持。一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、建設用資機材の輸出、建築金物分野は引続き苦戦。
- その結果、全体では前年同期比+933百万円（会計方針変更による増加を除く）の増収。

・利益

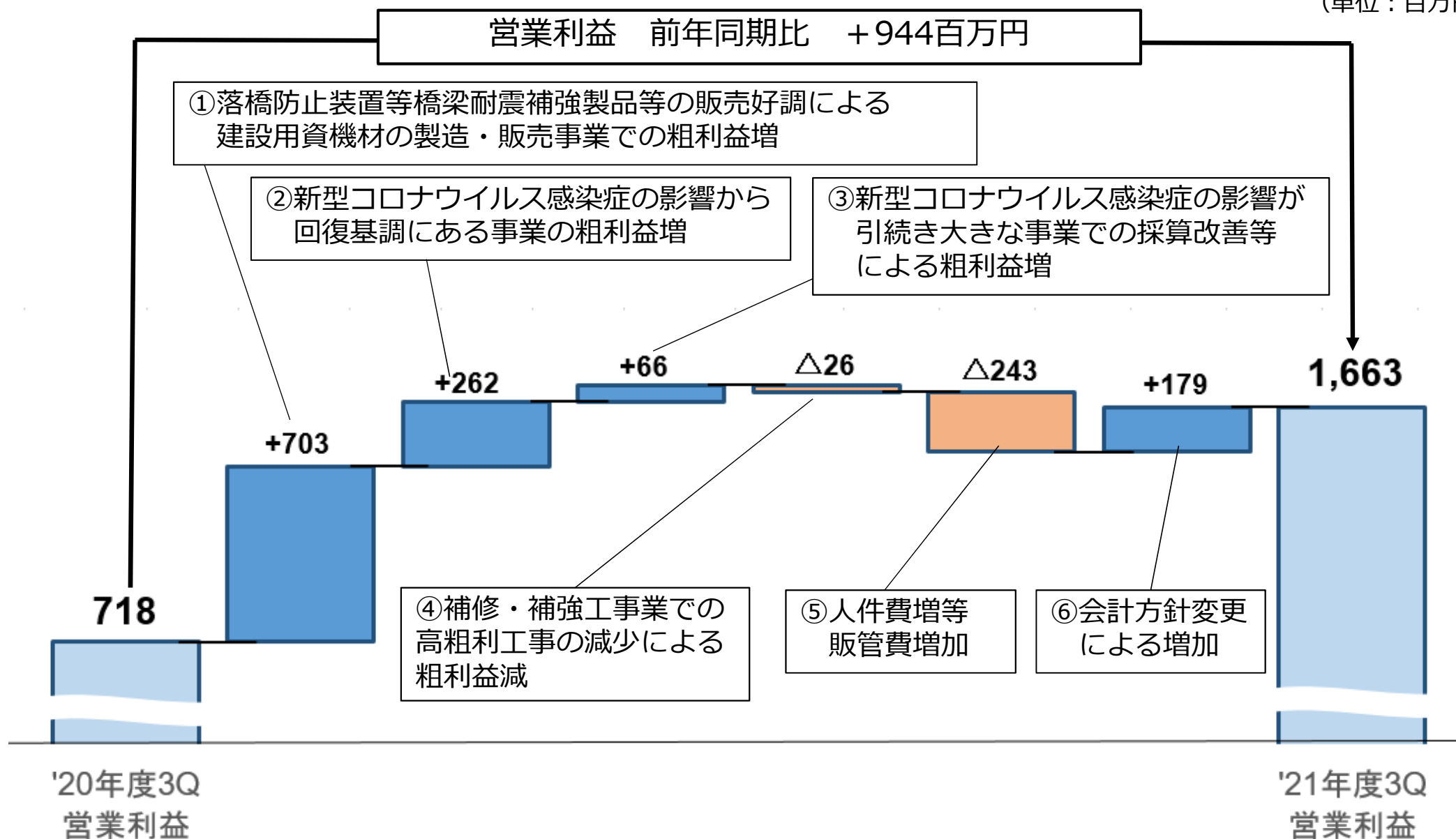
- 比較的利益率の高い建設資材、鉄骨工事分野での追加工事の増額承認および新型コロナウイルス感染症の影響による減収分野での既存製品の利益率改善に注力したことにより、経常利益は前年同期比+763百万円（会計方針変更による増加を除く）の大幅増益となった。

第3四半期連結決算実績サマリー（営業利益増減）



株式会社 **エスイー**

（単位：百万円）

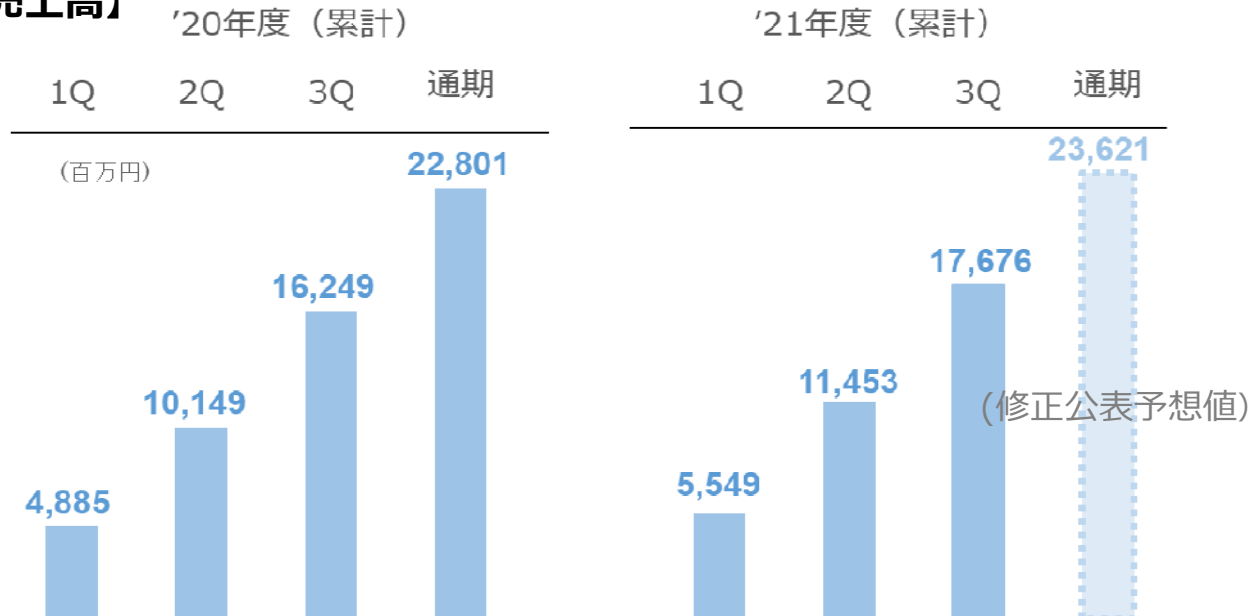


第3四半期連結決算実績サマリー(修正公表予想比) SEC 株式会社 エスイー

サマリー

建設用資機材の製造・販売事業の牽引により連結全体の計数は好調を維持

【売上高】



・売上高

- 建設用資機材の落橋防止装置等橋梁耐震補強製品の販売が好調だったこと及び大型案件等の納入前倒しの傾向が継続したことにより、好調を維持。
- 4Qも同様の傾向となる見込みではあるが、大型案件はそれほど多くないため、大きな伸びを見込んでいない。

【経常利益】



・利益

- 比較的高い利益率の建設用資機材の売上高の増加および採算改善、コロナ下での経費減により、利益額・利益率ともに非常に高い水準。
- 鋼材価格上昇の影響はあるものの大きな影響は出ておらず、本格化するのは来期以降を予想。公表予想値を超過達成する勢い。

連結貸借対照表サマリー

サマリー

親会社株主帰属四半期純利益等により純資産増加、自己資本比率・D/Eレシオ改善。

(単位：百万円)

資産			負債		
2021年 3月末	2021年 12月末	増減	2021年 3月末	2021年 12月末	増減
23,613	23,244	(主な内訳) △817 受取手形、売掛金及び契約資産 △175 現金及び預金 +302 原材料及び貯蔵品 +178 商品及び製品	14,805	13,547	(主な内訳) △650 長期借入金 △596 その他流動負債 +441 電子記録債務 △1,257
					純資産
			2021年 3月末	2021年 12月末	増減
			8,807	9,696	(主な内訳) +1,064 親会社株主帰属四半期純利益 △300 株主配当金支払い +889
		△368			

	2021年3月末	2021年12月末	増減
運転資本 (百万円)	4,770	4,222	△547
有利子負債 (百万円)	5,583	5,130	△453
純資産 (百万円)	8,807	9,696	+889
自己資本比率 (%)	37.2	41.6	+4.3
D/Eレシオ (倍)	0.64	0.53	△0.10

【会計方針変更による増減額】

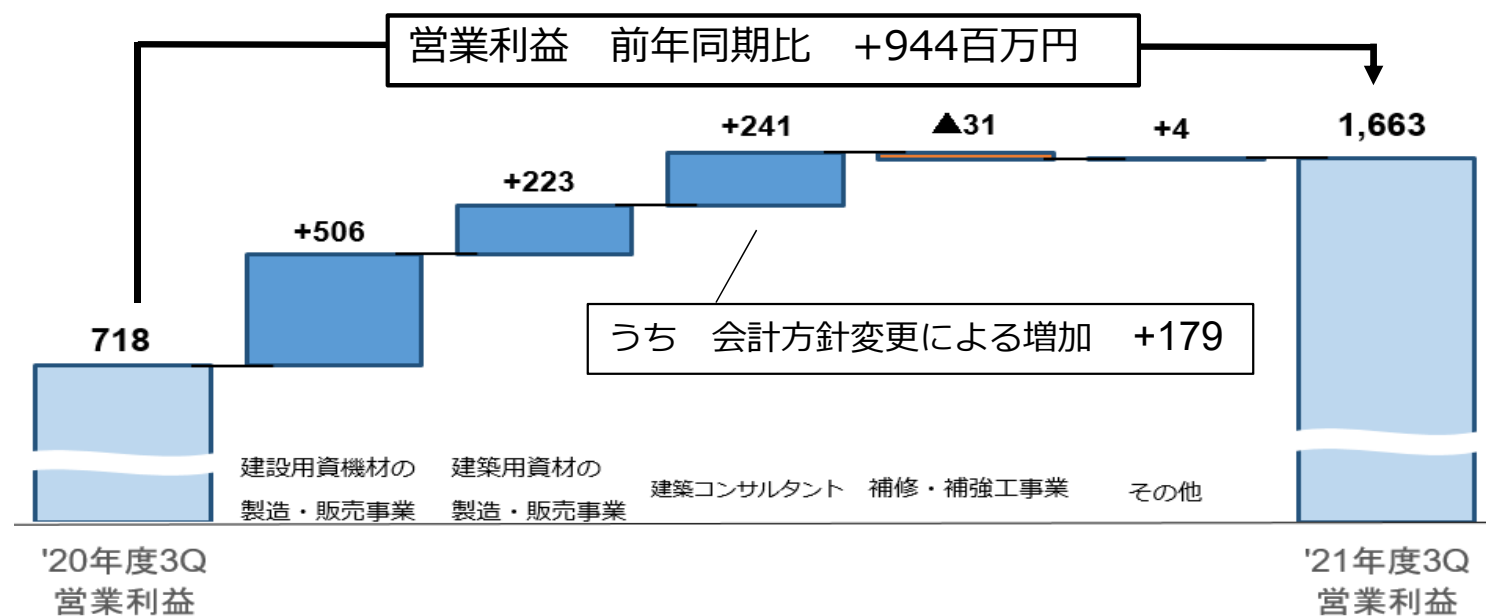
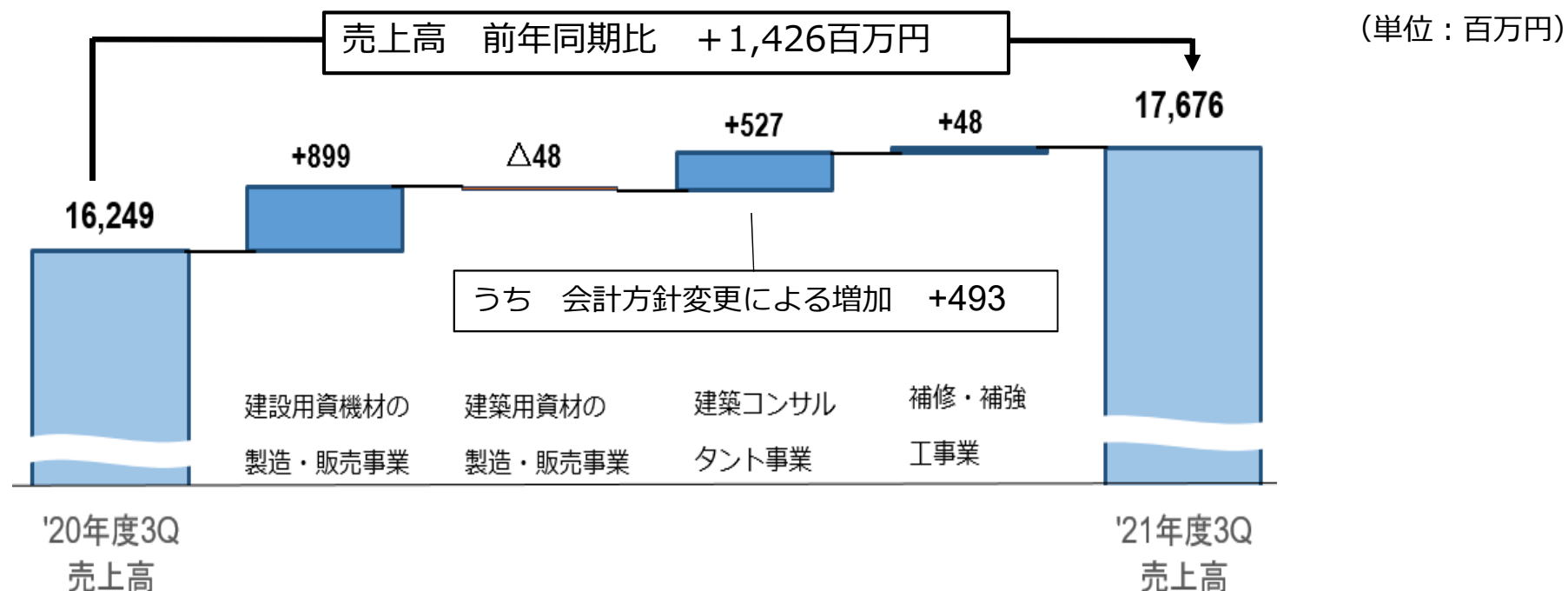
(単位：百万円)

資産	(主要因)	負債	(主要因)
△289	仕掛品	△490	前受金
		純資産	(主要因)
		+201	利益準備金

1. 2021年度第3四半期 連結決算実績

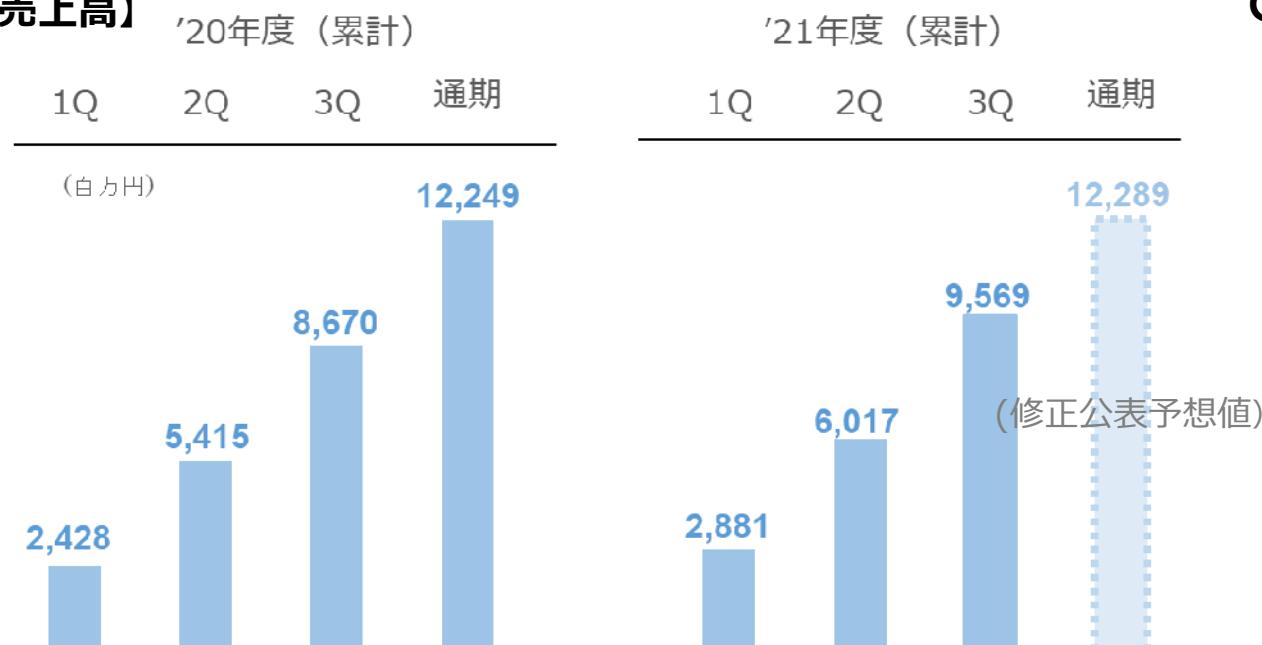
2. セグメント別の状況

セグメント別増減（前年同期比）



建設用資機材の製造・販売事業

【売上高】



【営業利益】



○前年同期比～大幅増収大幅増益

・売上高

- 落橋防止装置等橋梁耐震補強製品の販売、コンクリート製品分野での河川災害用ブロック等の販売が好調。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外向け資材販売が引続き低調だったものの、全体では前年同期比+10.4%の増収。

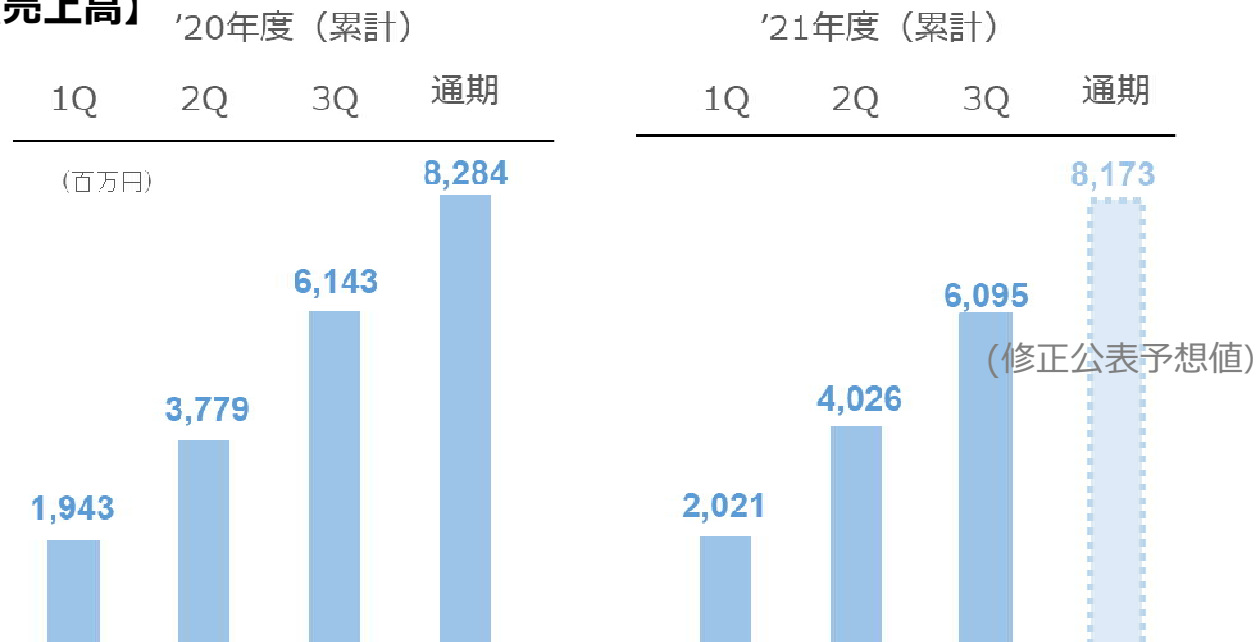
・利益

- 増収効果、利益率の高い製品の割合が増加したことにより前年同期比+66.1%の大幅増益を達成。

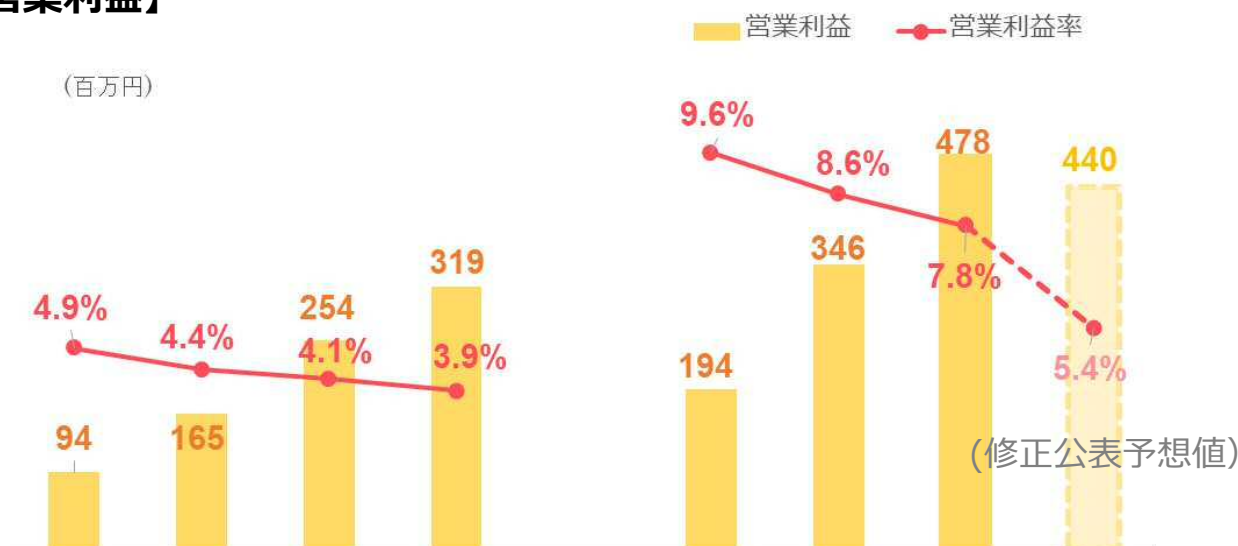
○公表予想比～好調を維持、予想値達成の見込み

- 海外向け以外は好調を維持。4Qは大型案件が多くなく、幾分進捗が鈍る可能性あり。
- 鋼材価格等原価上昇の影響はそれほど出ておらず、公表予想値の達成を十分見込める状況。

【売上高】



【営業利益】



○前年同期比～減収増益

・売上高

- 建築金物分野において、新型コロナウイルス感染症の影響により内装関連工事が激減、吊りボルト等の売上が例年に比べ大きく落ち込んだ状況が継続。
- 鉄骨工事分野は、新型コロナウイルス感染症による落込みからは回復基調。工事も順調に進捗。
- 全体では、前年同期比△0.8%の減収となった。

・利益

- 採算改善に注力したこと、鉄骨工事分野における工事増額が承認されたことにより、前年同期比+88.0%の大幅増益。

○公表予想比

- 建築金物分野は新型コロナウイルス感染症の影響による落込みからの回復は期待できず、利益重視の対応を継続。利益については、更なる上乘せが可能な状況。

【売上高】

'20年度（累計）

'21年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期

1Q 2Q 3Q 通期

（百万円）

1,009

（修正公表予想値）

【営業利益】

（百万円）

営業利益 営業利益率

12.0% 8.1% 8.7% 11.4%

115

（修正公表予想値）

○前年同期比～増収増益だが、ほとんどが会計方針変更によるもの

・売上高・利益

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、海外現地活動の中断が継続していたが、徐々に活動が再開されており、回復基調。
- 増収増益となっているが、ほとんどが、会計方針変更（増加額のうち、売上高+493百万円、営業利益+179百万円）によるもの。

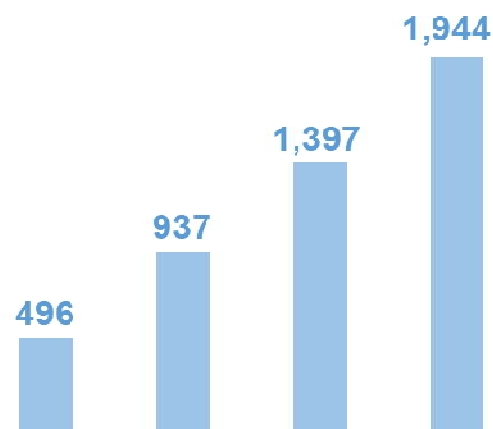
○公表予想比

- 受注残高は十分あるものの、オミクロン株の感染急拡大による渡航制限・現地活動制限等に懸念が残る。

【売上高】 '20年度（累計）

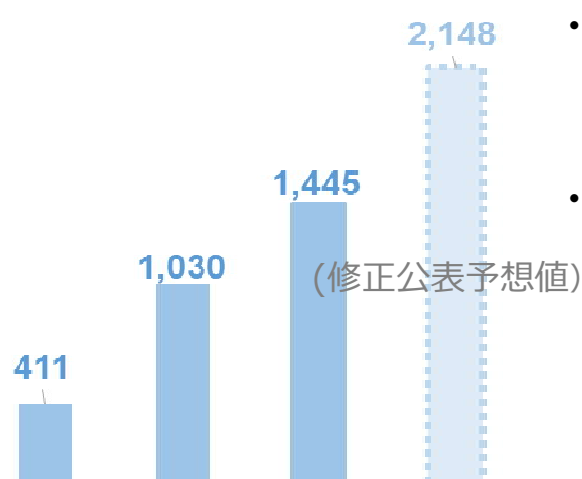
1Q 2Q 3Q 通期

（百万円）



'21年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期



○前年同期比～増収減益

・売上高

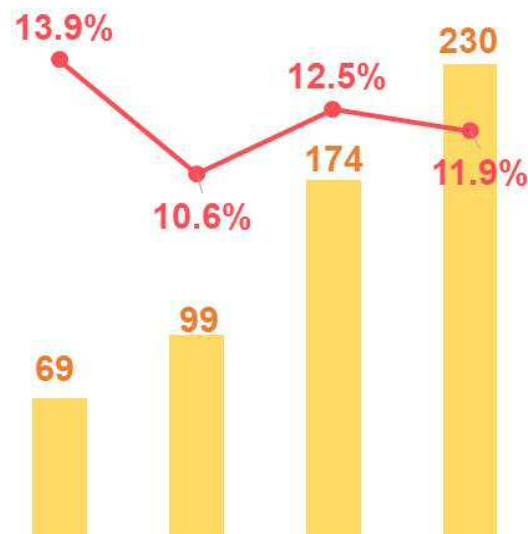
- 前期首より今期首の受注残が多い中でその消化が進み、前年同期比3.5%の増収。

・利益

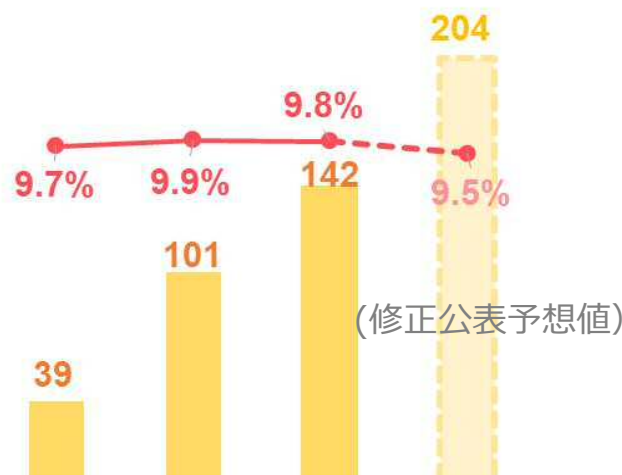
- 前年同期は利益率の高い案件があったものの今期は同等の案件がない中で、減益となった。

【営業利益】

（百万円）



営業利益 営業利益率



○公表予想比

- 受注環境は引続き良好で、売上高・利益ともに基本は堅調だが、工期と人員配置により、受注・売上も影響を受ける状況は変わらず。
- 効率的な配置と受注消化に注力するが、大型案件が遅延しており、公表予想値の確保は厳しい状況。

将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の分析、業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点で入手可能な情報に基づく見解や将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの分析・業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

International Engineering Maker

